

科目名：保健Ⅲ 科目コード：A135

単位名：理容科ヘアデザイン・ブライダルシェービングエステ

美容科：ヘアデザイン・メイク・ネイル・ブライダルスタイリスト・エステティック

・エッセンシャルクラス・就職進学クラス

1単位(30単位時間)

開講時期：2学年前期

担当教員：尾崎由理 前田輝美 長瀬達雅 五井恵 福本雅彦

●科目授業の目的と学生の達成目標：

皮膚、毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識を理容・美容技術と関連させながら学ぶ。

なぜ、理容・美容で人体の構造および機能を学ぶ必要があるのか、考察する。

また、皮膚科学を知ることにより、美容・理容がどのように人体に影響するかを学ぶ。

●成績評価の方法：

前期・後期の定期試験の結果により判定

●教材・ならびに教育方法：

日本理容美容教育センター指定教科書

●この科目の今後の展開：

9月「前期 期末試験」実施

9月「実力テスト」実施

※ 各クラスで確認小テスト実施

※ 夏季休暇、冬期休暇にはテスト対策問題の課題

回	時限	授業内容・方法	実務経験のある教員
1	2	第1章:皮膚の表面、皮膚の断面、表皮、表皮と真皮の境	
2	2	真皮、皮下組織、皮膚の部位差	
3	2	第2章:毛、脂腺(皮脂腺)汗腺、爪	
4	2	第3章:皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経	
5	2	第4章:対外保護作用、体温調節作用	
6	2	知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用、呼吸作用	
7	2	吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用、再生作用、毛のはたらき、爪のはたらき	
8	2	第5章:皮膚と全身状態、皮膚と精神、皮膚と栄養、皮膚とし好品、皮膚と体内病変、皮膚の水分と脂の状態	
9	2	皮膚・付属器官とホルモン、皮膚の保護と手入れ	
10	2	毛の保護と手入れ、爪の保護と手入れ、子どものおしゃれによる皮膚トラブル	
11	2	第6章:皮膚の異常とその種類、皮膚疾患の原因、皮膚疾患の治療法	
12	2	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	
13	2	口唇の疾患、温熱・寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患、色素異常による皮膚疾患、血管腫(アカアザ)、脂腺母斑、下肢静脈瘤	
14	2	分泌異常による皮膚疾患、化膿筋による皮膚疾患、ウイルスによる皮膚疾患、真菌による皮膚疾患	
15	2	衛生害虫による皮膚疾患、感染症の皮膚疾患の予防、毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍	